

世界小型株厳選ファンド

追加型投信／内外／株式

日経新聞掲載名：世界小型厳選

2023年7月26日から2024年1月25日まで

第 **10** 期 決算日：2024年1月25日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、主に世界の小型株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

 **三井住友DSアセットマネジメント**
〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

当期の状況

基準価額(期末)	13,440円
純資産総額(期末)	787百万円
騰落率(当期)	-5.1%
分配金合計(当期)	0円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

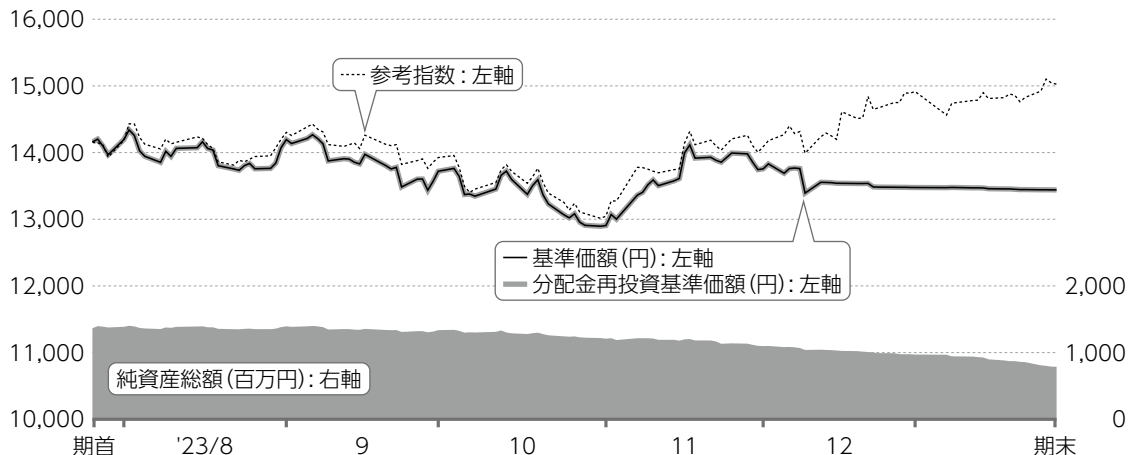
当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について(2023年7月26日から2024年1月25日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	14,158円
期末	13,440円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	-5.1% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、MSCIオールカントリー・ワールド・スモールキャップ・インデックス(配当込み、円換算ベース)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

基準価額の主な変動要因(2023年7月26日から2024年1月25日まで)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の小型株式に投資を行いました。

上昇要因

● マザーファンドで保有している銘柄の株価が上昇したこと

世界的にビジネスを展開する日本のスポーツアパレルメーカーのASICS Corporation (株式会社アシックス)は最も大きくプラスに寄与しました。同社は投資家向け説明会において言及したインドでの目標売上高が好感され、株価が上昇しました。

また、データ通信、電気通信市場向けの光学部品を製造するタイの精密部品メーカーのFabrinetもプラスに寄与しました。同社は「ビート・アンド・レイズ(市場予想を上回る決算を達成し、来期や今年通年のガイダンス(会社が発表する業績予想)を上方修正すること)」を実現した決算やガイダンスを発表していることに加えて、業界トップの地位を築いていることで、AI(人工知能)主導の需要の初期の恩恵を受ける企業の1つになると予想されています。

下落要因

- マザーファンドで保有している銘柄の株価が下落したこと
最も大きくマイナスに寄与したのは、米国の半導体大手のLattice Semiconductor Corpでした。
同社の7-9月期の決算は市場予想に沿ったものでしたが、産業用半導体と自動車用半導体に対する需要の冷え込みを背景に経営陣は10-12月期の業績予想を下方修正しました。半導体「FPGA (論理回路変換半導体)」を供給する同社は、マクロ経済状況の軟化にこれまで比較的影響されませんでした。したがって、10-12月期の業績予想の下方修正は市場にとって驚きでした。
また、米国の医療用機器メーカー Insulet Corporationもマイナスに寄与しました。デンマークの製薬大手Novo Nordisk A/Sが2型糖尿病や肥満患者の体重管理のための治療薬であるGLP-1 (グルカゴン様ペプチド-1) 受容体作動薬に関する臨床試験結果を発表したことを受けて、インスリン依存性糖尿病のためにインスリン注入システムを開発、製造、販売する同社の株価は下落しました。

1万口当たりの費用明細(2023年7月26日から2024年1月25日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	133円	0.973%	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) 期中の平均基準価額は13,667円です。
(投信会社)	(74)	(0.542)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(57)	(0.415)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.017)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	5	0.036	売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(5)	(0.036)	
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	5	0.034	有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(5)	(0.034)	
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	89	0.649	その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数 保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用 その他:信託事務の処理等に要するその他費用
(保管費用)	(34)	(0.251)	
(監査費用)	(-)	(-)	
(その他)	(54)	(0.399)	
合計	231	1.692	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

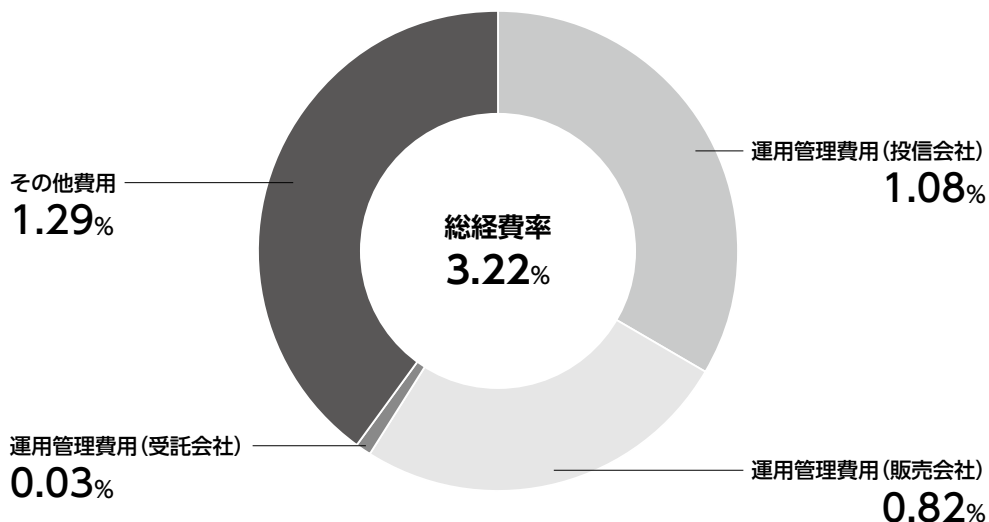
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は3.22%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2019年1月25日から2024年1月25日まで)

当ファンドは、ファンド設定後5年間を経過していないため、設定日(2019年2月1日)以降の情報を記載しています。

最近5年間の推移



		2019.2.1 設定日	2020.1.27 決算日	2021.1.25 決算日	2022.1.25 決算日	2023.1.25 決算日	2024.1.25 決算日
基準価額	(円)	10,000	11,537	14,776	14,545	13,124	13,440
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	400	850	400	0	300
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	19.5	35.6	0.8	-9.8	4.6
参考指数騰落率	(%)	—	14.1	17.5	12.2	8.2	20.8
純資産総額	(百万円)	250	1,965	1,810	1,969	1,369	787

参考指数について

※外国の指数は基準価額への反映を考慮した日付の値を使用しています。

※参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

投資環境について(2023年7月26日から2024年1月25日まで)

期間におけるグローバル小型株式市場は大きく変動して推移しましたが、期間を通じては上昇しました。また、為替市場は円安となりました。

グローバル株式市場

グローバル小型株式市場は、期間の前半は世界経済の減速への懸念が高まり大きく下落しました。米国経済が底堅く推移し、インフレ率が高水準にとどまったことに加え、中東での軍事衝突の勃発により原油価格が下支えされたことから、金融引き締めリスクが台頭したことが背景にありました。11月以降は、米国、ユーロ圏、英国でインフレ率が市場予想よりも下振れしたことを背景に、グローバル小型株市場は大きく上昇しました。インフレ率の低下に加えて、原油価格が下落したことを受けて、米国と欧州の中央銀行による利上げ終了の期待が高まりました。F R B (米連邦準備制度理事会)などの主要国中央銀行が2024年に利下げを開始するとの見通しが強まり、リスク志向が高まりました。世界経済のリセッション(景気後退)入りリスクは後退してきたものの、世界の経済成長率は減速することが予測されました。その他の懸念材料としては、ウクライナと中東で現在進行中の軍事衝突や、中国政府による最近の景気刺激策にもかかわらず中国経済の先行きに対

する不透明感が依然として根強いことなどがあげられました。

為替市場

為替市場においては、先進各国の中央銀行が引き締めの姿勢を維持する中、日本銀行が緩和的な姿勢を継続したことで円安基調となりました。2023年の年末にかけては米国の利下げ観測が強まったことで円高に転じましたが、期間を通じては、円安・主要通貨高となりました。

ポートフォリオについて (2023年7月26日から2024年1月25日まで)

当ファンド

主要投資対象である「世界小型株厳選マザーファンド」を、期間を通じて高位に組み入れました。

世界小型株厳選マザーファンド

台湾の衣料品メーカー大手のMakalot Industrial Co Ltdを新たに組み入れました。同社は世界の大手アパレルブランド・小売事業者へアパレルOEMおよびODMサービスを提供しています。同社の経営陣は、短期的には現在の在庫調整サイクルは終わりを迎えつつあると考えており、一方で中・長期的には、エンドマーケット(末端市場)での需要の伸び、現在進行中のサプライヤーの整理統合など業界からの有利な追い風に加えて、新規クライアントの獲得、生産能力の拡大、製品構成の改善などの経営陣主導の成長イニシアチブから同社は恩恵を受け続けると考えています。

また、米国の排水管メーカーのAdvanced Drainage Systems Incも新規購入しました。同社は米国での雨水管理用プラスチック製パイプなどの雨水事業やオンサイト浄化槽事業に特化しています。競合上の優位性は、現地製造、ディストリビューターとの強力

な関係、再生樹脂の調達を含む高水準の垂直統合などにあります。

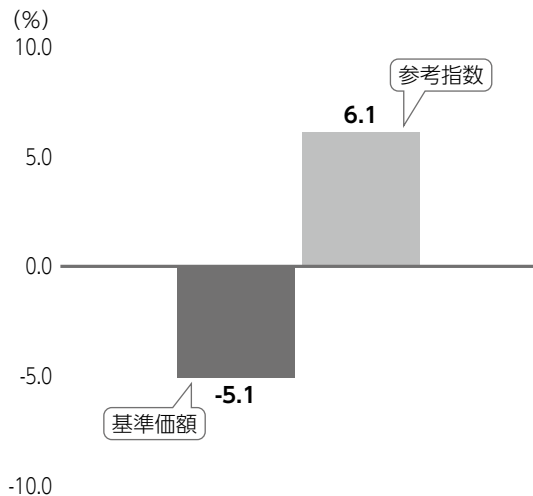
一方で、情報技術(IT)ベンダーである米国のPerficient Inc、およびイタリアのReply SpAを全売却しました。ITセクターは、マクロ経済環境の低迷を背景に契約の先送りやキャンセルが発生するなど、景気モメンタム(勢い)の減速から悪影響を受けています。こうした状況下で、この両社の決算およびガイダンスはいずれも期待外れの内容に終わりました。

また、米国のレンジリング事業者Darling Ingredients Incも売却しました。同社は、再生可能なディーゼル燃料のマージン低下圧力や、業界における過剰生産能力に対する懸念に直面しており、同社の高水準の負債ポジション、予想を下回る業務効率、新たな買収後の企業統合の問題などが懸念されました。

なお、ファンドの早期償還に向け11月に保有株式を全売却しました。

ベンチマークとの差異について(2023年7月26日から2024年1月25日まで)

基準価額と参考指数の騰落率対比



当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてMSCIオールカントリー・ワールド・スモールキャップ・インデックス(配当込み、円換算ベース)を設けています。

記載のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

※基準価額は分配金再投資ベース

分配金について(2023年7月26日から2024年1月25日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第10期
当期分配金	0
(対基準価額比率)	(0.00%)
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	5,032

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、左記の通りいたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

2024年2月に繰上償還のため、該当事項はございません。

3 お知らせ

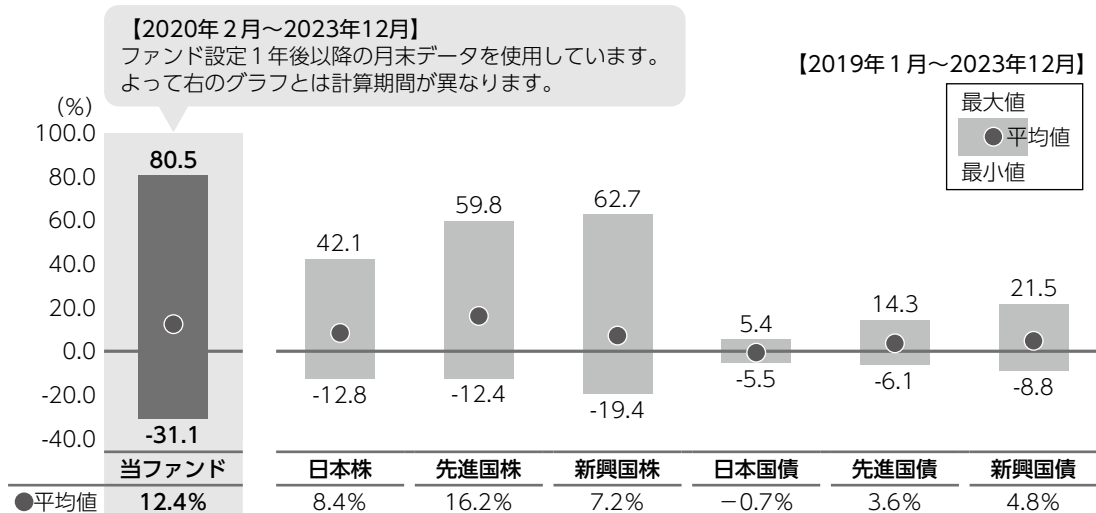
約款変更について

該当事項はございません。

4 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／株式
信 託 期 間	2019年2月1日から2029年1月25日まで
運 用 方 針	マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の小型株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。
主 要 投 資 対 象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 世界小型株厳選マザーファンド 世界の金融商品取引所に上場する株式
当 ファ ン ド の 運 用 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ■マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の小型株式へ投資し、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。 ■マザーファンドにおける運用指図にかかる権限を、アバディーン・インベストメント・マネジメント・リミテッドへ委託します。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組 入 制 限	<p>当ファンド</p> <ul style="list-style-type: none"> ■株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 <p>世界小型株厳選マザーファンド</p> <ul style="list-style-type: none"> ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分 配 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ■年2回(原則として毎年1月および7月の25日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

日本株	TOPIX (東証株価指数、配当込み) 株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI (国債) 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE 世界国債インデックス(除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	JPMオルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

6 当ファンドのデータ

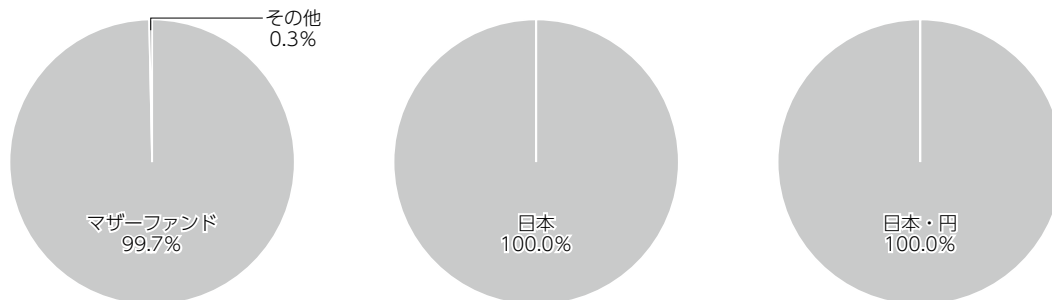
当ファンドの組入資産の内容(2024年1月25日)

組入れファンド等

銘柄名	組入比率
世界小型株厳選マザーファンド	99.7%
コールローン等、その他	0.3%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

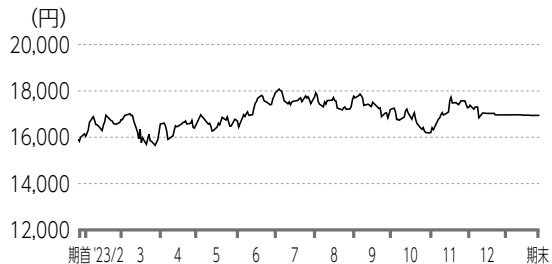
項目		第10期末 2024年1月25日
純資産総額	(円)	787,776,325
受益権総口数	(口)	586,139,007
1万口当たり基準価額	(円)	13,440

※当期における、追加設定元本額は72,924,075円、解約元本額は451,273,742円です。

組入上位ファンドの概要

世界小型株厳選マザーファンド(2023年1月26日から2024年1月25日まで)

基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

(単位：円)

項目	(内訳)	金額	(内訳)
売買委託手数料	(株式)	9	(9)
有価証券取引税	(株式)	6	(6)
その他費用	(保管費用)	129	(66)
	(その他)		(63)
合計		144	

※項目の概要については、前記「費用明細」をご参照ください。

有価証券等の組入れがないため、組入上位銘柄、資産別配分、国別配分および通貨別配分は記載していません。